

会 議 記 録

会議名称		杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会（第1回）
日時		令和7年1月24日（金）午後1時から午後2時30分まで
場所		杉並区役所 中棟4階 第2委員会室
出席者	委員名	大月市立大月短期大学 経済科 准教授：山岸 絵美理 すぎなみ協働プラザ 運営責任者：朝枝 晴美 社会保険労務士：野村 紀子 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹 杉並区産業振興センター所長：齊藤 俊朗
	事務局	課税課長（区民生活部副参事（ふるさと納税担当）） 金澤 潤一 課税課ふるさと納税担当係長 森山 貴子 課税課ふるさと納税担当 仲松 八重 課税課ふるさと納税担当 佐藤 健太
配布資料	事前	・杉並区ふるさと納税支援業務委託公募型プロポーザル実施要領一式（案） ・審査評価表（案）
	当日	・第1回 杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会次第 ・【資料1】杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会名簿 ・【資料2】杉並区プロポーザル選定委員会条例 ・【資料3】杉並区ふるさと納税支援業務委託公募型プロポーザル実施要領一式（案） ・【資料4】審査評価表（案）
会議次第		1 開会 2 委員自己紹介 3 会長互選 4 選定委員会の役割 5 議題 （1）選定スケジュールについて （2）実施要領等について （3）評価基準等について 6 その他

1 委員自己紹介

各委員から自己紹介が行われた。

2 会長互選

会長は山岸氏となった。

職務代理者は朝枝氏となった。

3 議題

(1) 選定スケジュール及び(2) 実施要領等について

事務局から選定スケジュール及び実施要領案について説明を行った。

【主な意見】

○実施要領案「2 目的」に記載のある「地域課題」とは具体的に何を指しているのか。「地域ににぎわいをもたらす」など、もう少し明確に伝えた方がよいのではないか。

○仕様書案「4 前提条件(1)」について、区が現在使用しているシステム以外の使用も認めるということであれば、もっとわかりやすい表現にするべきではないか。

(3) 評価基準等について

事務局から評価基準等について説明を行った。

【主な意見】

○審査評価表案「第一次審査_9」について、返礼品提供事業者との連携・協力体制における提案が実現可能であるか、といった趣旨の方がよいのではないか。

○審査評価表「第一次審査_16」について、カッコ書きで女性の活躍推進やワークライフバランス、ワークエンゲージメント向上等の羅列があるか、これは一つずつ考えるべきなのか、どれか一つということなのか。提案資料として綺麗にまとめた文章だけで評価するのではなく、女性管理職の割合、有給取得率や離職率などを数値で求めるとともに、ジェンダーバランスといった視点を含めた項目を新たに設けてはどうか。

○審査評価表「第二次審査_3 コミュニケーション能力」について、実務において求められるさまざまな場面におけるコミュニケーション能力を評価するに当たって、実務の担当者なども第二次審査に参加してもらい、各委員が評価判断できるような仕組みにするべきではないか。

各委員からの意見、質疑を踏まえて、実施要領案等及び審査評価表案を修正することとした。

【その他】

○参考資料1「返礼品の要件(案)」(1)について、区独自ということだが、他の区の状況はどうかという質問があり、事務局から、ここまで具体的な内容はあまり見受けられないものの、小冊子を同梱している自治体はいくつかあると認識している旨を回答した。

	○仕様書「12 業務委託料（1）基本委託料」にある遺贈とは、ふるさと納税に該当する のかという質問があり、事務局から、亡くなった方の意思による寄附であれば個人の寄附 となるため、ふるさと納税による寄附受入となる旨を回答した。
--	---

	4 次回の開催について
--	---------------------------

	第2回選定委員会の開催日について確定した。
--	------------------------------

	令和7年4月11日（金）午後1時～ 第9会議室（西棟8階）
--	--------------------------------------

会 議 記 録

会議名称		杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会（第2回）
日時		令和7年4月11日（金）午後1時から午後2時30分まで
場所		杉並区役所 西棟8階 第9会議室
出席者	委員名	大月市立大月短期大学 経済科 准教授：山岸 絵美理 すぎなみ協働プラザ 運営責任者：朝枝 晴美 社会保険労務士：野村 紀子 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹 杉並区産業振興センター所長：齊藤 俊朗
	事務局	区民生活部副参事（ふるさと納税担当）：増田 賢二 課税課ふるさと納税担当係長：佐藤 健太 課税課ふるさと納税担当：仲松 八重 課税課ふるさと納税担当：平出 真由美
配布資料	事前	・【資料1】第1回 杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会会議記録 ・【資料2】質問と回答 ・【資料4】財務状況に関する報告書 ・審査評価表（各自用） ・プロポーザル参加申込事業者提出書類一式
	当日	・第2回 杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会次第 ・【資料1】第1回 杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会会議記録 ・【資料2】質問と回答 ・【資料3】審査評価集計表（各自用・集計用） ・【資料4】財務状況に関する報告書 ・【資料5】第二次審査タイムスケジュール（案） ・【資料6】第二次審査について（案） ・【資料7】事業者に対する質問表（案） ・参考資料 職場環境等について
会議次第		1 開会 2 会議録の確定 3 参加申込状況 4 第一次審査 5 第二次審査タイムスケジュール及び事業者への周知事項（案） 6 第二次審査での事業者に対する質問（案） 7 その他

1 開会

事務局から、配布資料の確認を行った。

2 会議録の確定

第1回選定委員会会議録について確認し、第1回選定委員会会議録を確定した。

3 参加申込状況

事務局から、参加申込状況について説明を行った。

4 第一次審査

各委員から事前に提出のあった第一次審査評価表の集計結果について、事務局から説明を行った。その後、各応募事業者の提出書類について、委員から見解の報告を行った。

【主な意見・質疑】

○特産物などがある自治体ではなく、都市部の自治体で、いかに本業務に取り組んでいくのか。新たなモデルとして提示できる場所はどこか、という視点も必要ではないか。

○杉並区独自のふるさと納税制度に対する考え方を共有していく必要があるのではないか。

議論を踏まえ、各委員において第一次審査を実施した。第一次審査通過者は、実施要領において「第一次審査配点合計の6割以上を取得した事業者のうち上位3事業者程度」として、いることから、6割以上を取得したA事業者及びB事業者を第一次審査通過者とし、第二次審査はこの2事業者に対して行うこととなった。

5 第二次審査タイムスケジュール及び事業者への周知事項（案）

事務局から、第二次審査のタイムスケジュール及び第二次審査の参加事業者への周知事項について説明を行った。

【主な意見・質疑】

○事業者がプレゼンテーションで使用する資料について質疑があり、事務局からは資料の追加提出は認めず、提出済の提案書を基にプレゼンテーションを行ってもらう旨を回答した。

○プレゼンテーションの際、限られた時間の中で提案書の内容について満遍なく説明を受けるのではなく、区の出組姿勢や考え方を事前に示すことで、それに対する具体的なプレゼンテーションをしてもらう形が望ましいのではないか。

各委員からの意見、質疑を踏まえて、【資料6】第二次審査について（案）を修正することとした。

6 第二次審査での事業者に対する質問（案）

事務局から、第二次審査での事業者に対する共通質問について説明を行った。

【主な意見・質疑】

○個人情報に係る不適切な事例がある場合の対処についての質問があるが、事例がない場合も考えられるため、事例がある場合は実績を、ない場合は事例が生じた場合の対応について質問を行うべきではないか。

○事業者への質問について、事前に回答の用意ができるよう、あらかじめ質問内容を提示したうえで当日に回答を聞き、その回答に対する再質問を委員から行う方が効率的ではないか、との意見があった。

事務局から、作り込まれた回答を読み上げる形ではなく、咄嗟の質問に対しても自社の提案内容や強みを認識し回答できるかといった視点を考慮した形としている旨を回答した。

各委員からの意見、質疑を踏まえて、【資料 7】事業者に対する質問表（案）を修正することとした。

7 その他

第一次審査の結果通知発送日及び第 3 回選定委員会の開催日程について、事務局から確認を行った。

次回（第 3 回選定委員会）の開催について

令和 7 年 4 月 2 5 日（金）午後 1 時から（区役所本庁舎 西棟 6 階 第 5 会議室）

会 議 記 録

会議名称		杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会（第3回）
日時		令和7年4月25日（金）午後1時から午後3時15分まで
場所		杉並区役所 西棟6階 第5会議室
出席者	委員名	大月市立大月短期大学 経済科 准教授：山岸 絵美理 すぎなみ協働プラザ 運営責任者：朝枝 晴美 社会保険労務士：野村 紀子 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹 杉並区産業振興センター所長：齊藤 俊朗
	事務局	区民生活部副参事（ふるさと納税担当）：増田 賢二 課税課ふるさと納税担当係長：佐藤 健太 課税課ふるさと納税担当：仲松 八重 課税課ふるさと納税担当：平出 真由美
配布資料	事前	・【資料1】第2回杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会会議記録 ・【資料2】第二次審査タイムスケジュール ・【資料3】事業者に対する質問表（事業者別） ・【資料6】第二次審査評価表（各自用（事業者別）） ・当日事業者提示資料
	当日	・第3回 杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会次第 ・【資料1】第2回 杉並区ふるさと納税支援業務受託者候補者選定委員会会議記録 ・【資料2】第二次審査タイムスケジュール ・【資料3】事業者に対する質問表（事業者別） ・【資料4】第一次審査評価表（各自用） ・【資料5】第一次審査評価表（集計表） ・【資料6】第二次審査評価表（各自用（事業者別）） ・参考資料 当日事業者提示資料
会議次第		1 開会 2 会議録の確定 3 第二次審査の進行確認 4 第二次審査（プレゼンテーション、ヒアリング、採点） 5 採点集計結果発表及び受託者候補者の決定 6 その他

1 開会

事務局から、配布資料の確認を行った。

2 会議録の確定

第2回選定委員会会議録について確認し、第2回選定委員会会議録を確定した。

3 第二次審査の進行確認

事務局から、第二次審査のタイムスケジュールの確認を行った。

4 第二次審査（プレゼンテーション、ヒアリング、採点）

各事業者のプレゼンテーションに対し、質疑応答、審査を行った。

【A社への主な質疑】（「○」は委員の発言、「・」は事務局の発言、「→」は事業者の回答を示す）

・コミュニケーションについて、特に意識して実践していることがあるか。

→現場担当者が返礼品提供事業者を訪問し、現状の課題や今後の対策についてヒアリングを行っている。また、システム入力や提出書類のサポートを行うことで返礼品提供事業者への負担軽減を図るなど、気軽に連絡を取り合える関係構築に努めている。

・5年間の事業計画期間中、返礼品の拡充を通じてどのように区の魅力発信や地域経済の活性化を図り、寄附受入見込額を増やしていくのか、またそれにあたっての課題をどのように捉えているのか。

→返礼品提供事業者の開拓を着実に遂行していくことで、寄附受入見込額は達成できると考えている。また、杉並区外への魅力発信を課題と捉え、ポータルサイトのクオリティに注力するだけでなく、メールマガジンのこまめな配信等を行うことで認知を獲得する。

・働きやすい・働き甲斐のある職場環境に関する取組について、どのように取り組んでいるか。

→男女問わず育児、介護支援制度を導入し、時短勤務・在宅勤務・休暇制度など働きやすい環境を整えている。また、働き甲斐の取組として社員のスキルアップ支援のための資格取得サポートを推進している。

・個人情報の管理について、ソフト面・ハード面で具体的にどのように取り組んでいくのか。また、個人情報の不適切な取り扱いが生じた場合、どのように対応するのか。

→ソフト面では、個人情報保護研修や情報セキュリティ研修を実施し、その後小テストを行うことで理解度の確認を行っている。ハード面では、ネットワーク上で障害が発生した場合、早急に検知し、ネットワークを遮断するシステム構築をしている。その上で、30分以内に対策本部を立ち上げ、自治体にも報告をする体制としている。

○返礼品のコラボレーション企画について、アニメに限らず、他の自治体での事例があるか。
→アニメキャラクターをモチーフとした商店街の施策をふるさと納税と絡めてイベント化する事例や、地域の名産物の返礼品パッケージにアニメのキャラクターをあしらった形で返礼品とするような事例がある。

○小規模事業者に対する伴走支援の具体策を聞きたい。
→小規模事業者では、ふるさと納税の返礼品として提供できる数が限定的になる中で、そうした有名店のレシピや企画立案など、監修する形で返礼品としての開発支援を行う。

【B社への主な質疑】（「○」は委員の発言、「・」は事務局の発言、「→」は事業者の回答を示す）

・コミュニケーションについて、特に意識して実践していることがあるか。
→自治体、区職員、事業者に関して直接の窓口を設け、営業日であれば電話やメールの対応をその日中に対応する体制としている。また、契約自治体とは月に1回程度定例会を開催し、課題の確認と進捗の共有を行い、事業者へは訪問やオンラインで直接話し、常に連絡を取れる体制を整えている。

・5年間の事業計画期間中、返礼品の拡充を通じてどのように区の魅力発信や地域経済の活性化を図り、寄附受入見込額を増やしていくのか、またそれにあたっての課題をどのように捉えているのか。
→事業者の開拓を課題と捉え、新規返礼品提供事業者への説明を丁寧に行い、参画事業者を増加させることに注力する。また、並行してポータルサイト上への掲載方法や表現方法を継続的にブラッシュアップしていく。

・働きやすい・働き甲斐のある職場環境に関する取組について、どのように取り組んでいるか。
→社内教育で、外部ツールのスクール契約をしており、社員は誰でも自分の興味のあるウェブ講習を好きなタイミングで受講可能としている。働きやすい環境については、育児休業、有給休暇などが取得しやすい環境を整えており、女性にとっても働きやすい環境を目標としている。

・個人情報の管理について、ソフト面・ハード面で具体的にどのように取り組んでいくのか。また、個人情報の不適切な取り扱いが生じた場合、どのように対応するのか。
→各ポータルサイトの使用は、契約自治体から付与されたIDを使用し、使用者の名簿を契約自治体へ提出している。また、個人情報が入るパソコン等は、鍵付きのキャビネットで保管をしている。このほか、基本的にはプライバシーマークの内容に沿った形で個人情報の取扱いをしている。

○返礼品の企画開発に関する具体的な手法について聞きたい。

→SNS を活用した手法に加え、地図アプリを使用し地域単位での開発を行う。また、契約自治体とは定例会を設け、実現可能な返礼品であるか協議することを想定している。

○小規模事業者に注文が集中した場合、どのように対応するか。

→店のキャパシティや内容によるが、返礼品提供事業者へヒアリングを行った上で、食事券のような役務提供型の返礼品であれば、提供枚数の調整や有効期限の設定を行い、集中や混乱が起きないようにしている。品物の場合は、注文時期の予測を行い、在庫設定を行った上でポータルサイト上の制限をかける対策を行っている。

応募事業者によるプレゼンテーション、ヒアリング後、各委員において第二次審査を実施し、事務局において集計を行った。

5 採点集計結果発表及び受託者候補者の決定

第二次審査の集計結果を事務局から説明した。

選定委員の合意の上、配点合計に対する評価点の合計が6割以上、かつ、第一次審査及び第二次審査の総合計が最上位の事業者を、受託者候補者として選定し、区へ報告した。

※審査結果は、別紙「杉並区ふるさと納税支援業務委託公募型プロポーザル選定結果」のとおり。

【委員からの主な意見】

- ・どちらの事業者が受託しても、本業務についてしっかりやってくれると感じた。
- ・A社の方が、より杉並区に対する熱意を感じられた。
- ・応募に当たって、杉並のことをしっかり見てくれたことに感謝したい。

6 その他

参加事業者への選定結果通知及び区公式ホームページへの選定結果掲載など、今後のスケジュールについて事務局より説明した。